

Volume.029



徳山大学校友会誌

とくだい

発行所
徳山大学校友会

〒745-8566
山口県周南市久米 徳山大学内
TEL&FAX 0834 (28) 7454

発行日
平成17年3月25日

発行責任者 國廣 憲

編集責任者 今元 英之

キャンパスの四季~うつろい~

撮影/ 中村道陽

この1年の徳山大学の風景です。

- ① 初夏の頃 新緑が眩しい季節です。
- ② この列は春の桜風景です。左より総合グラウンドに咲くオオシマ桜 中は学食からのパノラマ 右は遊歩道に花びらが落ちて、花むしろとなりました。
- ③ 雪は今年3回ほど積まりました。
- ④ 朝日に映える紅葉。



写真⑤ 本館からの夕景
今も昔も変わりません

平成 16 年度評議員会開催



平成 16 年
6 月 26 日平
成 16 年度徳
山大学校友会
評議員会が、
周南市ホテル
サンルート徳
山にて行われ
ました。この
中でまず、平

成 15 年度事業報告として幹事長より主要活動にて報告、その後、企画部、組織強化部、広報部、事業部の各部長より報告が行われました。

平成 15 年度主要活動（抜粋）

- 4 月 入学式・さくら祭協賛
- 5 月 徳山教育財団理事会出席
徳山教育財団評議員会出席
- 6 月 三役会（会長・副会長・幹事長）
第 1 回役員会
平成 15 年度評議員会
- 9 月 山口県東部支部同窓会
徳山教育財団理事会出席
- 11 月 改革特別委員会
関東支部同窓会
- 12 月 徳山教育財団理事会出席
校友会誌第 28 号発行
- 1 月 小柴昌俊講演会（周南市文化会館）
- 3 月 徳山教育財団評議員会出席
徳山教育財団理事会出席
第 2 回役員会



この後、平成
15 年度決算報
告、続いて平成
16 年度事業計
画、予算案が審
議され、質疑応
答が行われ、承
認されました。

平成 15 年度決算報告

収 入 8,682,746円
支 出 7,428,308円
繰越金 1,254,438円

平成 16 年度予算

8,194,938円

会の結びとして、岡野経済学部長よりビジネス戦略学科について、お話をいただきました。（6 頁参照）

終了後、恒例により大学教職員を交えての懇親会が行われました。会長はの中で「先程、岡野先生よりビジネス戦略学科についての話を伺ったが、実は私の会社で、パンフレットを作成するにあたり、何かいいアイディアはないかということで、漫画家のなかはらかぜさんにイラストを依頼し作成しました。これが、非常にわかりやすいと高い評価を得ました。そういう意味でも、これから徳山大学が目指しているところは、ビジネスの場においても非常に役立つ実践的な面を見据えていると感じました」と話されました。



懇親会の席にて
挨拶をされる國廣憲会長

乾杯
挨拶のご発声は
蔵田総務部長事務取扱



懇親会開宴
窓からは晴海埠頭の夕景

ビンゴゲーム
進行は岡島さん清水さん

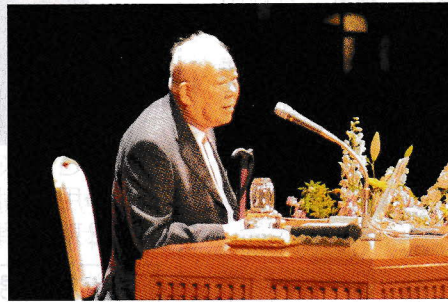
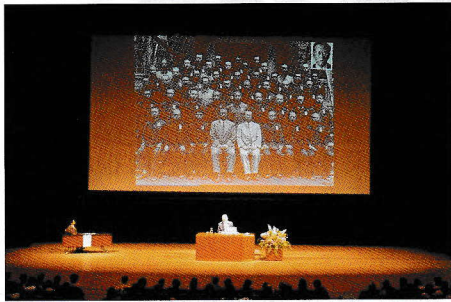


校友会主催事業

校友会では文化講演会を毎年1度行っていますが、今回は、平成16年1月「小柴昌俊氏」平成17年1月「養老孟司氏」の講演会の模様についてお伝えします。

ノーベル物理学賞 小柴昌俊氏 講演会

04.1.18 周南市文化会館



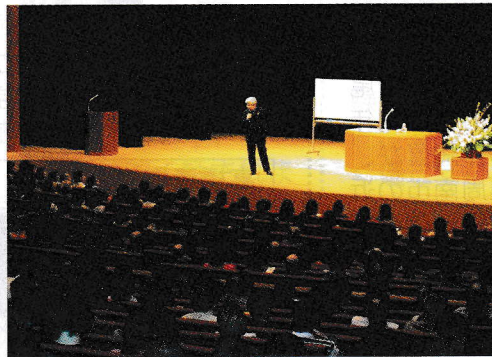
ノーベル物理学賞を受賞された東京大学名誉教授小柴昌俊先生の講演会が平成、16年1月18日(日)周南市文化会館大ホールにて開催されました。15時から始まりました講演は「夢を持って生きる」との表題に沿ってご自身の生い立ちにはじまり、経験談を交えながら進行さ

れました。この中で、どういう考え方で今日まで生きてきたかなどを通して「覚悟を決めたら大概のことはできる」「若い人には夢のたまごを大切に育てて欲しい」などと分かり易くお話されました。講演は1時間行われました。その後、会場からの質疑応答に答えられました。校友会と後援会(保護者会)並びに市文化財団のタイアップで毎年行われているこの文化講演会ですが、今年も多くのお客さんをお迎えし好評のうちに終了しました。(写真協力:周南市文化振興財団)

「バカの壁」養老孟司氏 講演会

05.1.24 周南市文化会館

著書「バカの壁」がベストセラーとなった養老孟司氏の講演会が徳山大学校友会並びに周南市文化振興財団の主催で開かれました。会場は、ほぼ満席の1,600人余りの聴衆で埋まりました。学長の挨拶・講師紹介の後、講演が始まり、この中で、意識についての問題、サリン事件を起こすよ



うな人間がなぜ出てきたか、また個性ということの問題など多岐にわたり話され、東大での講義の中のことを例にとり「まさかそんなことを自分は思いつかないと思い込んで、自分が壁を作っている。それを私はバカの壁と言った。」と話されました。演壇から離れて、ハンドマイクを持ちステージを左右に歩かれながら、独特のユーモアを交えての講演に聴衆は聞き入っていました。

校友会後援事業

第3回福祉に関する作文コンクール授賞式行われる

04.12.11



今回で第3回を迎える福祉作文コンクールに小学生から一般まで、全国より117作品が集まりました。選考委員長に学長、選考委員として青木福祉情報学部長、家常教授、三井教授があたりました。授賞式は11時から行われ、学長よりひとりひとりに賞状と副賞が渡されました。学長は挨拶の中で、「心を痛める事件の多い中で、みなさんの作文を読んでいるとほっとするものがありました」と述べました。受賞者は式後、学内見学と会食を行いました。入賞者の作品は入賞作品集として冊子にまとめられ、応募いただいた全員の方に配布されました。なお、読売新聞、中国新聞に最優秀作品が紹介されました。

元気ですか!お元気!

卒業生のみなさんの近況をご紹介します。

佐々木俊衛さん(16期) 東京都在住



佐々木さんは16期卒業で現在38歳。株式会社採用戦略を経営されるかたわら、7年前からテコンドーを始め昨年の地方予選を勝ち抜き(関東・中部・近畿・中四・九州の各ブロックの上位3位までが出場権獲得)

今年3月5日に東京・代々木体育館で行われる第16回全日本テコンドー選手権大会に出場されました。出場選手中、ダントツの最年長、若者たちに負けぬようがんばりたいとの事でしたが結果はいかがでしたでしょうか。

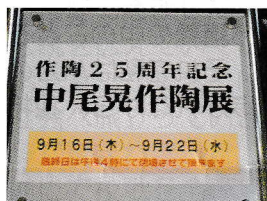
日本国際テコンドー協会サイト

<http://www.taekwon-do.co.jp/>

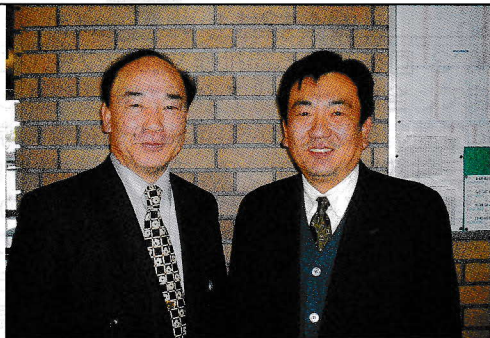
中尾晃さん(5期) 岡山県在住



備前焼作家の中尾晃さんの25周年記念の作陶展が、山口県周南市の近鉄松下百貨店にて行われました。会場には中尾さんの代表作も展示され多くの入場者で賑わいました。作家生活四半世紀を迎え、ますます高い創作意欲をもって作品作りに挑まれる中尾さんの今後のご活躍に期待したいと思います。



沖島宏幸さん(10期) 長崎県在住



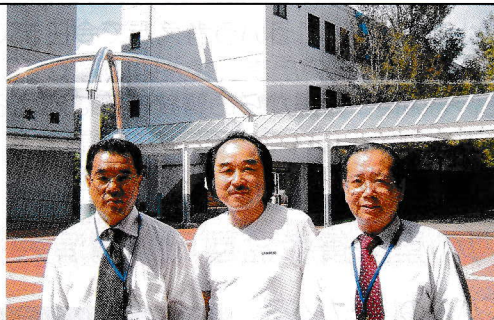
長崎県小佐々町立楠栖小学校で教頭先生をされている、沖島さん(写真右)資料収集を兼ねて久しぶりに徳山大学に来られました。(写真左は兼重先生)

平島民夫さん(2期) 熊本県在住



平島さんは中九州青果(株)に勤務されています。ご多用の合間、訪ねて来られました。(写真左)「2期生で同窓会しようか」と盛り上がりました。

西方九州男さん(2期) 大阪府在住



西方さんは岸和田市でカラオケスタジオなどを経営されています。(写真中央)学生時代、お世話になった蔵田さん(写真右)と学食前にて記念撮影。

高橋勇樹さん(21期) 山口県在住



高橋さんは大学卒業後、企業に6年間勤務。今春よりしょうせいえんに支援士として勤務。しょうせいえんの園生8名を引率して徳山大学の見学に来られました。

槇原広行さん(12期) 広島県在住



槇原さんは青山商事(株)の人材開発採用担当で全国を歩かれています。この日は徳山大学就職セミナー講師で来学。後方は学生時代の思い出のヨットハーバー。

評議員候補者の募集について

今年6月は評議員の改選期となります。これに伴いまして、事務局より従来の各評議員の方には確認の連絡をとらせていただいています。次期改選期におきましては、職域・クラブ及び学生団体の卒業生による評議員の増員を図りたく、広く募集しております。多くの団体のご参加をお待ちしています。

①評議員とは

- 1号議員 同一職場による卒業生の団体代表
- 2号議員 校友会の支部団体よりの代表
- 3号議員 クラブ・学生団体の団体代表
- 4号議員 卒業期別の代表

これらの人で構成されています。

②評議員の仕事とは・・・?

任期は2年です。毎年6月開催の評議員会に出席いただき、校友会の活動方針や予算・決算について審議を行っていただきます。このときの交通費等につきましては本部にて負担いたします。また、会終了後に徳山大学の教職員の方を交えての懇親会もあり、同窓生として広く交流を図る場となっています。

<評議員候補者受付中>

期 間 平成17年4月末日まで
お問合せ 徳山大学校友会
電 話 0834-28-7454
0834-28-0411 (707)

30周年記念事業について

平成17年度は校友会30周年の年となります。

これまで、10年ごとに記念行事を行ってまいりましたが、本部では現在30周年記念事業特別事業部を立ち上げ、記念事業を計画しているところです。現在予定として考えられていることについて経過を報告いたします。

テーマ 「卒業生本位の卒業生の心に残るものを」

内 容 (あくまでも予定です)

記念同窓会 (平成17年秋周南市内にて)
記念講演会
大学祭タイアップ企画など

また、30周年を記念して各地におられる卒業生の方との交流も図れるような企画も検討中です。

具体的なことが決まり次第、校友会ホームページ、また30周年記念特集号として発送の予定としています。

<みなさんからの企画を募集しています>

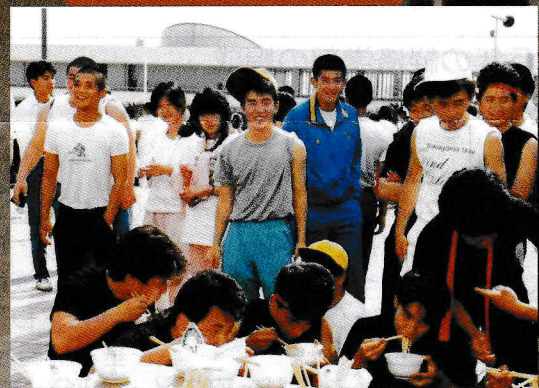
こういうことはどうだろうという
アイデア・企画がありましたら
電話もしくはEメールにてお寄せ下さい。
送り先は10ページをご参照下さい。

ちょっと昔の徳山大学



撮影時期 昭和50年代後半
改装される前の学生食堂の風景です。奥の窓の向こうが学食前の広場となります。やかんにお茶、ケッチャップの缶は灰皿でした。あなたは、何を食べられました?

徳山大学の蔵より
引っ張り出して参りました・・・



撮影時期 昭和62年5月
徳山女子短期大学創立、合同の体育祭の1コマ。運動会なのになぜか、カップめんの早食い競争をしているところ。短大生とのフォークダンスもありました。

一特集 ビジネス戦略学科 開設一

今春よりスタートするビジネス戦略学科。このことについて、岡野経済学部長に寄稿いただきました。



「経済学部には？マンガ・アニメを学ぶ日本で初めてのコースが！」

徳山大学・経済学部長 岡野啓介

本学経済学部・経営学科は2005年度より、名称を『ビジネス戦略学科』に変更し、新たな出発をはかります。その新学科の目玉となるのがマンガ・アニメを学ぶ『知財開発』コースの新設です。経済学部は何故マンガやアニメが？ そう首をかしげられる方も多いことでしょう。しかしマンガ・アニメやゲームソフトなどのコンテンツは、世界に誇る日本の知的財産であり、市場規模10兆円を超えるコンテンツ産業は、将来の日本経済を牽引し再生させる柱になると期待されています。このため政府は、このコンテンツ産業を飛躍的に拡大していくための人材育成を、大学に求めています。『知財開発』コース新設は、まさにこの要求に応えるものに他なりません。

今回、地元で活躍されている人気漫画家「なかはらかぜ」氏を特任教授としてお迎えするなど、講師陣には、マンガ家・アニメーター・コンテンツプロデューサーなど、各界のトッププロを揃えました。この環境の下、学生たちは

- ① マンガ・アニメ開発の基礎からデビューまでのノウハウをじっくり学ぶことができます。

しかし本学の目指すものは芸術系の大学や専門学校のそれとは大きく異なります。同時に

- ② コンテンツを知的財産と捉え、保護・活用していくための法律的知識と実践的ノウハウを身につけるとともに、
- ③ 経済学・経営学の基礎知識を基に、コンテンツ産業を対象とするマーケティングやビジネス戦略を、最先端の現場で活躍するディレクターやプロデューサーから実践的に学ぶ

ことによって、コンテンツ・ビジネスを推進していくことのできる人材の育成を目指します。①に加え、②や③の能力を備えた人材、これこそ現代の日本社会に強く求められているものに他ならないのです。マンガ・アニメのコースを経済学部の中に開設する理由は、まさにこの点にあります。大学選びに関しては、一般に『ブランドを求めて都市圏の有名大学に集中』という嗜好が強いことは否定できません。18才人口の激減とともに、本学が苦戦を強いられるようになった最大の理由でもあります。しかしこのコースを立ち上げ、それとは違った考え方をする若者達を目の当たりにし、我々スタッフ一同、思わぬ感激を味わう日々が続いているのです。他人が決めたブランドなんかに価値はない。自分の本当にやりたいことをしっかりと持ち、その夢を実現できる特色ある大学を選ぶ。そんなことを標榜する優秀な若者が、徐々にこのコースに集まり始めているのです！！この平成の新人類たちを乗せ『徳山大学経済学部』号は新たな船出をします。校友の皆様のご声援をお願いします。

2005年の経済学部の編成

経済学部 — 経済学科

— ビジネス戦略学科

4つの特色あるコース（知財開発コース以外は経済学科でも履修可能）

- ☆スポーツ指導員コース（公認・B級・C級スポーツコーチ・健康運動実践指導者を目指す）
- ☆会計ファイナンスコース（各種簿記検定・ファイナンシャルプランナーを目指す）
- ☆ネットワーク管理者コース（WORD・EXCELの完全修得・初級アドミニストレーター基本情報技術者などを目指す）

☆知財開発（マンガ・アニメ・造形）コース

従来の教職課程（経済・中高 社会 ビジネス戦略・商業）も、引き続き開設します。

僕の求めて
いたもの
あるかもしれ
ない・・・



耳より情報 徳山大学卒業生の子女入学に関する入学金免除について

徳山大学では、卒業生の子女が入学される場合、学納金の一部として入学金の免除を実施しています。詳細につきましては、入試室までお問い合わせ下さい。

徳山大学入試室 (0834)28-5302

ビジネス戦略学科についてお判りいただけましたでしょうか？それでは次に、この学科開設に伴い大学で行われた、各種イベント行事についてお伝えします。

イベントファイルNo1

「親子で親しむマンガ・アニメ教室」04.7.22.23

この催しは、徳山大学11号館（旧短大）の1125教室にて、周南市、マンガ・アニメの普及支援活動を行っている東京財団、徳山大学の共催で開かれました。会場には周南市及び周辺より定員を上回る、小学生親子約70名が参加しました。



現在日本のマンガやアニメーションが世界から注目されているのはその独創性にあると言われています。こうしたことから今回は、マンガやアニメを通して次世代を担う子供たちの、創造力を育てる機会になることを目的に開催されました。

はじめに漫画家で本学講師のなかはらかぜ先生より、マンガの描き方ということでお話があり「マンガは描いている絵の中にストーリーがあるものをマンガと言います」と話しかけながら、ホワイトボードに実際に絵を描きながら、わかりやすく話されました。次に、東京工芸大講師の峰岸恵一先生より、アニメとはどういうものかということで、お話がありました。先生は、パソコンで、各国のアニメ、日本のアニメを紹介されながら「アニメーションを描くことが上達するには、日頃からすべてのものをよく観察しておくことが大切」と言われ、参加者の興味を惹きました。

子供たちは、自分の絵をアニメにするグループと粘土でアニメを作成するグループに分かれ、それぞれの作品づくりに入りました。描いた絵や粘土のキャラクターをビデオカメラで撮影して、パソコンに取り込みアニメに仕上げるという工程で進められました。13時から3時間にわたる時間も、子供たちの好奇心と独創的なアイデアの中で、充実した時間が過ぎていきました。子供はもとより、保護者の方も一緒に目を輝かせて作品作りに取り組み、夏休み1日のよい思い出になったようでした。



イベントファイルNo2

「親子で楽しむ夏休みマンガ・アニメ王国」04.8.24

東京財団と周南市、徳山大学の三者共催で「日本のマンガ・アニメは重要な知的財産として世界に広がっています。夏休みのこの機会にマンガ・アニメ文化にふれてみませんか！」という投げかけで行われた夏休みマンガ・アニメ王国には、周南市近隣から親子約200名の参加がありました。



まず、日下公人東京財団会長より、マンガ・アニメがいま日本にもたらず意味について挨拶、次いで7月22日・23日に行われたアニメ教室の作品発表、そして声優小清水亜美さん・三瓶由布子さんによるアフレコ実演と参加者との声優模擬体験、さらに1コマ・4コマ・似顔絵のマンガ教室など、マンガ・アニメのさまざまな要素を親子で楽しく過ごすひとときがみられました。

まず、日下公人東京財団会長より、マンガ・アニメがいま日本にもたらず意味について挨拶、次いで7月22日・23日に行われたアニメ教室

の作品発表、そして声優小清水亜美さん・三瓶由布子さんによるアフレコ実演と参加者との声優模擬体験、さらに1コマ・4コマ・似顔絵のマンガ教室など、マンガ・アニメのさまざまな要素を親子で楽しく過ごすひとときがみられました。



イベントファイルNo3

「マンガの魅力・アニメの底力」04.8.25

「マンガの魅力・アニメの底力」と題されたこのイベントは、日下公人東京財団会長による講演「日本経済の将来展望—マンガ・アニメの底力」からはじまり、日本文化と西洋文化の比較をされながら、マンガ・アニメに表現されている日本文化の独自性と普遍性についてお話しをされました。次いで、アニメ映画プロデューサーの片岡義朗氏より「日本のアニメが世界でうけた訳」と題し、現場からアニメ制作にあたり、世の中に出していく厳しい過程など含め、なぜいまアニメなのかということについて講演されました。



この後、声優の小清水亜美さん・三瓶由布子さんとの対談や小清水さんらによるアフレコの実演も行われ、参加者は、日ごろ目にする事のない第一線の方たちの話や演技に興味を惹かれていました。



学内情報インフォメーション

徳山女子短期大学最後の卒業式&記念碑除幕式が行われる 04.3.25

徳山女子短期大学の最後の卒業式が、徳山大学卒業式と合同で平成16年3月25日(木)記念館にて卒業生43名が出席し、厳粛に行われました。

吉岡学長は式辞でオスカー・ハマンシュタインの次の詩を引用され、

ベルは鳴らさない限りベルではない
歌は歌わない限り歌ではない
あなたの中の愛は貴方に留むべきでない
愛は貴方が分らない限り愛ではない

「若さの特徴は待つのではなく、自分から働きかけ



るダイナミックさにあります。社会はみなさんからの働きかけを待っているのです」と述べられました。この後、閉学にふれて「機会

を捉えてはこの場所において頂き、先生方との交わりを何時までも続けていただきたいと願っています」と述べられました。

卒業生代表の山本翔子さんより、「この2年間は、本当にあっという間に過ぎてしまいました。多くの人と出会い、多くの事を学び、徳山女子短期大学でしか味わう事の出来ない貴重な経験をたくさんすることができました。私達には、徳山女子短期大学の伝統を伝えていくことができる後輩はいませんが、諸先輩方が築き上げられてこられた伝統を誇りに、社会へ旅立っていきます」と万感の思いを込めて答辞が読まれました。式の後、徳山女子短期大学校舎前にて校歌を全員で歌い、記念碑の除幕式が執り行われました。

客員教授 弘兼憲史講演会開催 04.7.29



ビジネス戦略学科開設記念のイベントとして弘兼憲史先生の講演会が開催され、会場は260名の聴衆で満員となりました。

第1部では、な

かはらかぜ先生による「弘兼先生とマンガを語ろう」と題し、弘兼先生との対話形式の公開講義が行われました。おふたりのマンガに出逢われるまでや、マ

ンガに対する考え方などお話いただきました。第1部の後半は第1回マンガコンテストの受賞作品講評が弘兼先生、なかはら先生により行われ、出席した受賞者に直接話しかけられながら、和やかに進められました。続けて行われた表彰では、徳山大学特製(弘兼先生・なかはら先生直筆サイン入り)賞状と図書券を優秀賞受賞のひとりひとりに学長と弘兼先生から渡されました。



休憩の後、第2部の弘兼憲史先生の講演が行われました。「私のマンガ制作法」というタイトルのごとく、マンガ家としてのご自身の生活、マンガ制作法、マンガ家とはなどを話され、知的財産権の重要性の後、「これから最も大切なのはアイデアと創造力」と述べられました。「これから、徳山大学より有為な人材が輩出されることを期待します」と知財開発コースに期待されていることを述べ、締めくくられました。

客員教授 菅原浩志特別講義行われる 04.10.4

本学客員教授の菅原浩志氏(映画監督)の特別講義が10月4日(月)18時30分より徳山大学の201教室にて行われました。会場は定員を上回る130名が参集し、一般の方と学生と半々という割合で、地域の方の関心の高さも示されました。

THINK GLOBAL, ACT LOCAL(世界規模で考え、地域で実践する)という演題で行われた講義は、カリフォルニア州立大学



留学にいたる話から、留学を通して学んだことなど話されました。留学先の学長の言葉として「大学では、何を学ぶかではなく誰と出会うかである」という言葉を聴き、今もこれは真実と思っているという話や、フランス語の授業を英語で学んだ事の苦労談、



初めての映画の授業で15分の映画を制作、連日夜中までかかり編集したが「This is my life」と感じたことなど話され、中間に監督の作品「僕たちの7日間戦争」のメイキングビデオが上映されました。

後半ではシュワルツネッガーとの出会いの話から、彼が常に訪れるチャンスに対してベストの状態で備えているということや、視点（捉え方）により物事はチャンスにもピンチにもなるという話、また「運」は誰が運んでくるものかということなど話され、人との出会いを大切にしているという話をされました。また、「みなさんはたったひとりの存在だということ」を自覚して、自分が何者なのかということ認識することに辿り着くことを願っています」と話されました。最後に、アティチュード（心構え）という英語の詩を菅原先生の訳で紹介され、講義を終了しました。

どの話も実体験からくる人生哲学であり、非常に説得力を持ち、講義を受けられた参加者は高揚感を滲ませていました。

硬式野球部全日本大学野球選手権において ベスト8

04.6.8～東京・神宮球場



本学硬式野球部は、中国春季リーグで見事、優勝し、6月8日より東京の明治神宮球場にて行われました、全日本大学野球選手権大会に出場しました。組み合わせは強

豪ひしめくブロックの中、1回戦中京大学と対戦し、1-0で粘り勝ちし、勝利を収めました。2回戦は立命館大学、エースの投げあい、どっちに転がってもおかしくないゲーム展開の中、7回にタイムリーヒット、さらに8回にはダメ押しと言えるホームランを左翼スタンドに放り込み、4-0の快勝を収めました。準々決勝は優勝候補の日本大学、5回まで互角の展開でしたが、6回バウンドのむずかしい当たりや、ポテンヒットなどが失策を誘発、結果として0-9となりました。しかし、このゲームは点差ほどの力の差は感じられず、このことは新聞各社の見出しにその雰囲気伝えられていると思われる。

強豪相手に完封で投げた那須投手の様子は、関東地方の新聞にも写真入りで紹介されました。選手ひとりひとりのびのびとプレーし、爽やか



に神宮を後にしました。スタンドでは保護者や関東在住卒業生の熱い声援が送られました。ビッグネームの大学を相手に堂々たる戦いぶりを見せた選手のみなさんに拍手をおくりたいと思います。

なお、那須投手は本大会において敢闘賞を受賞しました。おめでとうございます。

白濱選手今季日本学生最高記録！！04.6.20

出雲選抜大学駅伝で第1区1位、全日本大学駅伝第1区2位、箱根駅伝日本選抜チーム出場と、昨年大活躍の白濱三徳選手がまたまた大記録を出しました。平成16年6月20日に行われました、ホクレンディスタンスチャレンジ網走大会において、5000mに出場し、13分46秒30で3位今季の日本学生最高記録を出しました。2位はこの種目のアテネ代表候補徳本一善選手、4位は中国電力の内富恭則選手という顔ぶれからも、この大会のレベルの高さが伺えると思います。なお、卒業後白濱君は実業団駅伝最強チームと言われている、中国電力へ就職し、さらに大きな目標に向かって走り続けます。



ポプラ祭今年も元気に開催！！04.11.6～7



好天に恵まれた2日間、多くの来場者で賑わいました。今年度のテーマは“彩”と名づけられ、その名の

とおりいろいろな催しを行い、教職員・学生もそれぞれの立場から大学祭を楽しみました。例年にも増して多かったのが地域の方の参加であり、これも、大学祭実行委員会をはじめとした学生による日ごろからの地域活動への参加が大きく功を奏した結果と言えると思われます。

映画「ほたるの星」の上映には多くの親子が鑑賞、また恒例となった「外国人による日本語弁論大会」では今年も熱のこもった弁論が行われ、聴衆は聞き入っていました。

大学祭の終わった翌日の朝のキャンパスには早くから片付けをする学生の姿が見られました。こういった学生のひたむきさが綿々と引き継がれているのも本学大学祭の素晴らしさと思われます。学生たちの

視線は今年の秋の第35回の節目に向かって、すでに動き始めています。

みなさんも大学祭で久しぶりに旧交を温められませんか、いっしょになって盛り上げてみませんか。

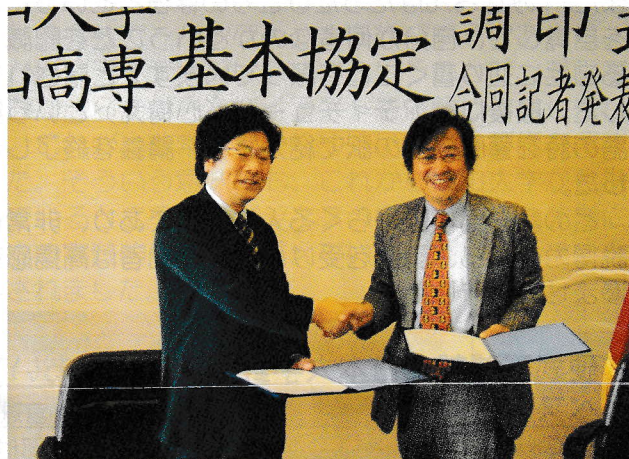
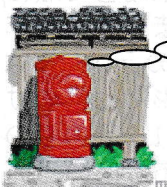


トピックス

徳山大学・徳山高専との基本協定調印行われる 05.1.18

平成17年1月18日(火) 徳山大学において徳山大学・徳山高専の基本協定の調印式が行われました。これまで、全国において私立大学と国立高専との部分的な協定はあっても包括的な協定は例が見られませんでした。この話は約3年前より杉光学長と天野校長との間で進められ、当初、国立高専という枠組みがハードルとなり思うように進めていくことができませんでした。昨春独立行政法人化したことに伴い、高専側よりあらためて大学に対して協定の申し入れがあり、今回の調印にいたりました。このことにより、講義において文系・理系の科目の相互の学習の幅が広がるとともに、相互の教職員・学生の交流も大きく広がることとなりました。学長・校長とも、「学生に対しての教育機会が広がることをどんどん推進していきたい」と抱負を述べました。

今後においては、大学高専双方によって協力協定運営会議を設け、教育研究水準の向上並びに周辺地域の社会・経済発展のためにどのようなことを実施していくべきか協議され、できることから、早ければ今春以降にも実施されていく予定です。周南の地に徳山大学・徳山高専が誕生して30年あまり、両校は手を取り合いながら大きな一歩を踏み出しました。

卒業生のみなさんから
の便り紹介

24期 周南市在住 中野 義輝

母校を懐かしく思います。設備が充実して驚いております。益々のご発展をお祈りします。

16期 防府市在住 梅田 佳孝

ツインズの飯田投手の今後の活躍を期待します。

防府市在住 篠原 英男

長男、二男(現在2年生)がお世話になっております。おかげ様で長男は就職二年目を迎え、やりたい仕事を一生懸命楽しく過ごしている様子でございます。偏えに在学中お支え頂きましたお陰と感謝申し上げます。二男も目標を持って努力しております。今の世の中だからこそ役に立てる一社会人となればと応援致しております。家族全員で一度訪れてみたく存じております。今後共何卒宜しくお願い申し上げます。

22期 下関在住 末吉 正明

いつも楽しく拝見させてもらっています。又HPも見ていると、学生時代が非常になつかしく思っています。これからも頑張ってください!

25期 静岡県在住 高塚 敏彦

いつも来たら読ませてもらっています。やっぱりきになるから。みなさん頑張って下さい。

5期 岡山県在住 藤原 英昭

卒業して25年目を迎えますが、毎回こうして、校友誌を送付して頂き有難く感じております。

思い出します
ねっ!

私は卒業後、実家の岡山県内で公務員として頑張っております。新聞、テレビ等で、後輩がスポーツ特に野球・駅伝・サッカー等で頑張っている姿を見ると嬉しいとともに、後輩から叱咤激励されている様な気持ちになります。

徳山大学の益々のご発展を心からお祈りいたします。

24期 徳島県在住 藤田 貴志

徳大校友会誌が届くのを楽しみにしております。

11期 高知県在住 上岡 信寛

徳山大学も受験のシーズンとなり、寒さと戦いながら受験した当時も思い浮かんで来ますけれども、昨今は大学卒業後、就職先でボーナスが全くなかった世情で、厳しい経済ともなっていますが、徳山で過ごした4年間に読破した書籍などや徳山のひととの交流や山岸先生と生徒用のテキストブック作製に取り組ませていただいた事が20年前とはいえ思い出されます。

徳大OB/OG限定プレゼントコーナー

①ふるさと小包 2名様

熊本県魚の車海老。天草の海で獲れた鮮度が勝負の車海老です。(230g)9~12匹 提供:徳山郵便局

②「山口グルメガイド」5名様

山口県のグルメ最新情報

提供:ザメディアジョン

③徳山大学特製絵はがきセット 5名様

今回誌1ページの写真を5枚組みセットの絵葉書にて差し上げます。

編集後記・お礼

今回は Word を使用して、初の手作り形式で編集いたしました。大学を卒業しての10年20年は本当に早いですね。ホームページの方も情報更新していますので、是非ご覧下さい。(徳山大学校友会で検索)

また、表紙の写真は徳山大学のホームページの中にあるネット広報「Web press」で季節ごとに紹介してあります。

編集スタッフ 広報部長 今元英之(20期) 事務局 中村道陽(11期) 榎本江利子(25期)

協力 野村哲也 TNLife(20期) 株式会社ザメディアジョン 徳山大学

☆プレゼント応募・その他のあて先

プレゼントご希望の方は、希望商品 氏名 年齢 住所 電話番号 ご意見・ご感想をお書きの上

〒745-8586 山口県周南市久米 徳山大学校友会 まで Eメールアドレス kouyukai@tokuyama-u.ac.jp

※お寄せいただいたご意見・ご感想は校友会誌上に掲載されることがありますので、予めご了承下さい。